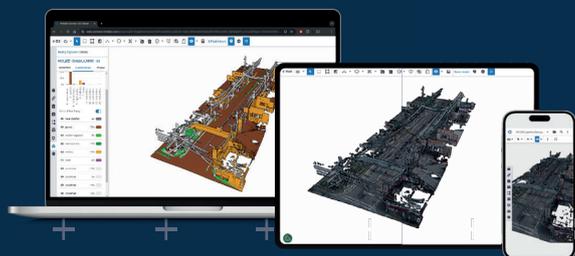


Trimble Connect ポイントクラウドビュー

✓ 情報共有

✓ データ連携

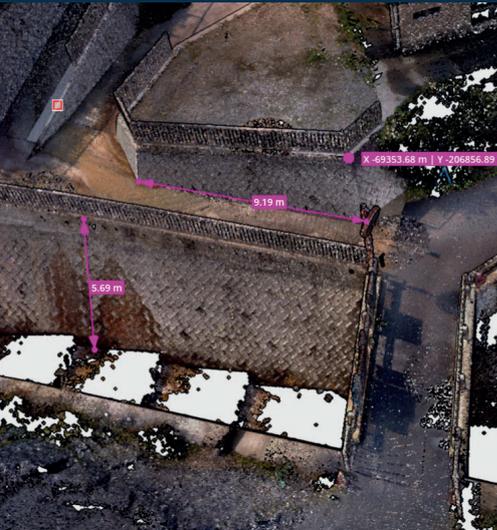
シームレスなデータ連携で
作業の効率化と業務の変革を
追求



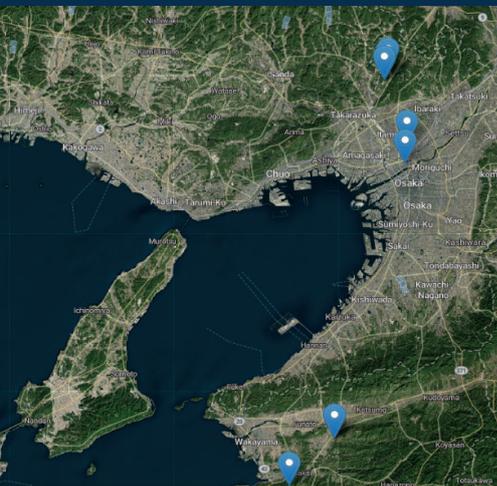
✓ 業務変革

Trimble Connect は現場に必要な 3次元設計データや様々なデータ・ドキュメントをクラウドに集約することで、オフィス～現場間の作業ロスをなくし、業務効率を最大限に追求できるクラウドソリューションです。Trimble Connect の拡張機能としてリリースした『ポイントクラウドビュー』は、大規模で信頼性の高いストレージを採用したことで 3次元点群データをリアルに表示し、3次元設計データとの合成表示も可能にしました。インターネット環境があれば誰でもアクセスすることが可能で、関係者との打ち合わせや協力会社間での情報共有を行うことで最強ツールとして威力を発揮します。(WindowsPC、iOS、Android 端末でも閲覧可能)

ポイントクラウドビュー



リアルタイムに点群データを確認



Mapへ自動的に展開

ポイントクラウドビュー

- 様々な点群データを表示** Trimble Xシリーズ、SXシリーズ、SiteVision等で計測した点群データや他のシステムから受け取った点群データ（LAS/LAZ e57）を直接登録し、3D ビュアシステムとして利用することが可能。
- Mapデータに展開** Trimble Business Center（TBC）経由でスキャンデータを公開。公開されたデータはTBCで設定した座標系情報を参照し、正確な位置に自動でMap展開します。各ステーションから計測した情報も連動するためステーションからのパノラマ表示も可能です。
- データチェック機能** 協会社間、受発注者間でプロジェクトを共有していれば、どなたでもプロジェクト内の点群データの閲覧、点間距離のチェック等、点群から必要なデータを取得可能。
- 大容量ストレージ** 様々な現場で計測した点群を表示するクラウド領域として1TBのエリア提供。

あらゆるデータの一元管理を実現（Trimble Connect）

- データクラウド** 業務に必要な設計図書や各種ドキュメントを関係者間で共有が可能。図面データ（DWG等）や3次元設計データ（IFC、LANDXML等）もビュー機能にてリアルタイムで内容を確認することが可能。
- Trimble システムとの連携強化** TBC、Trimble Accessとのシームレスなデータ連携を実現。現場に必要な3次元設計データ、基準点座標をTBCからTrimble Connect経由でTrimble Accessと連携することで作業ロスを軽減し、最新データをリアルタイムに共有可能。
- 不足データの補填** 現場に到着してから不足データが発見された場合でも、オフィスから修正データをTrimble Connectにアップロードすることで即座に補填が完了。
- 複数人でライセンスを共有** 招待機能により1つのライセンスを複数人でアクセスが可能。通知機能により更新状況も即時把握が可能。



■ データ連携

	データ連携
対応点群データ	LAS/LAZ、e57
SXシリーズ	各種JOBファイルをTBCに読み込み点群データを展開後、スキャンデータ公開機能でTrimble Connectへアップロード
Xシリーズ	Perspectiveから出力した点群データを直接アップロード
SiteVision	計測したスキャンデータを更新ボタンによりTrimble ConnectのプロジェクトにLAZ形式でアップロード

■ 動作環境

ポイントクラウドビューの動作環境は、下表の通りです。

	最小スペック	推奨スペック
プロセッサ	4コア 1.6Ghz	8コア 2.60Ghz
搭載メモリ	8 GB	16 GB以上
ストレージ	10 GB	32 GB以上（SSD）
グラフィックカード	統合型グラフィックス 1 GB	専用グラフィックス 4 GB以上（NVIDIA/AMD）
ネットワーク	2 Mbps	10 Mbps以上
ブラウザ	Chrome Edge Firefox Safari	